

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第13週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,751人（定点あたり60.9）で、前週比116%と増加した。

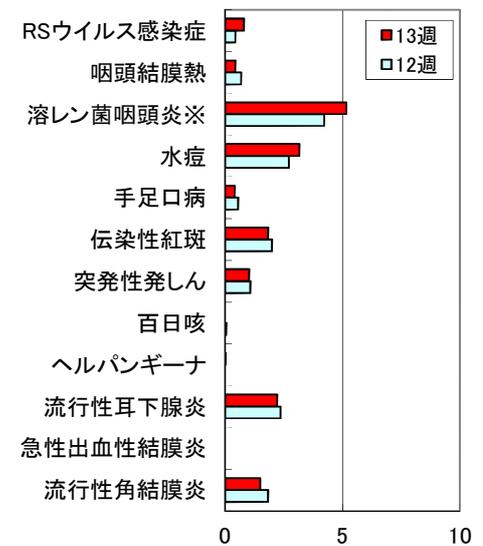
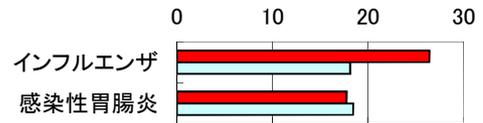
前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

インフルエンザの報告数は1,558人（26.4）で前週比146%と増加した。中央（50.5）、宮崎市（46.4）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では5歳以下が全体の34%、6-9歳が35%、10-14歳が24%、15-19歳が1%、20歳以上が6%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は186人（5.2）で前週比122%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（2.1）の約2.5倍と多い。延岡（17.8）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では3歳から6歳で全体の約7割を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が延岡保健所から報告された。患者は6歳の男児で、原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



定点あたり報告数
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 感染性胃腸炎の集団発生（平成23年3月28日～平成23年4月3日まで）
感染性胃腸炎の集団発生はありませんでした。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	26.4	中央(50.5)、宮崎市(46.4)	5歳以下が全体の34%、6～9歳が35%、10～14歳が24%、15～19歳が1%、20歳以上が6%を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	5.2	延岡(17.8)	3歳～6歳で全体の約7割を占めた。
感染性胃腸炎	20	17.8	小林(35.0)、日南(26.3)、都城(24.2)、中央(20.0)	1歳～3歳で全体の約4割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.8	中央(5.0)、高鍋(3.3)、宮崎市(2.8)、延岡(2.3)、高千穂(2.0)	3歳～7歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.2	日南(11.7)	2歳～6歳で全体の約7割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 7 例が宮崎市 (3 例)、都城 (2 例)、延岡・中央 (各 1 例) 保健所から報告された。
- 《宮崎市保健所》・70 歳代の女性で肺結核。
 ・30 歳代の女性で無症状病原体保有者。
 ・50 歳代の女性で無症状病原体保有者。
- 《都城保健所》・40 歳代の男性で疑似症患者。視力低下がみられた。
 ・80 歳代の男性で肺結核。
- 《延岡保健所》・20 歳代の男性で無症状病原体保有者。
- 《中央保健所》・80 歳代の男性で肺結核。発熱がみられた。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が都城保健所から報告された。50 歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌は 091 (VT1 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 後天性免疫不全症候群 1 例が宮崎市保健所から報告された。50 歳代の男性で A I D S。発熱、呼吸苦がみられた。

■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

□ 細菌 (平成 23 年 3 月 23 日～平成 23 年 4 月 4 日までに検出)

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
<i>Bordetella holmesii</i>	10代後半	女	2011.2.26	気管支炎、スタックカート(+)、ウープ(+)	咽頭ぬぐい液	2011.3.23
<i>Bordetella holmesii</i>	10代前半	女	2011.3.7	気管支炎、スタックカート(+)、ウープ(+)	鼻汁	2011.3.23
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代前半	女	2011.3.11	気管支炎	咽頭ぬぐい液	2011.3.30
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	60代前半	男	2011.3.14	気管支炎、スタックカート(+)、ウープ(+)	鼻汁	2011.3.29
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代前半	女	2011.3.14	気管支炎	咽頭ぬぐい液	2011.3.29
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代前半	女	2011.3.15	気管支炎、スタックカート(+)、ウープ(-)	鼻汁	2011.3.29
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	70代前半	男	2011.3.16		便	2011.3.25
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	0～4	男	2011.3.29	発熱(37.6℃)、下痢	便	2011.4.4
腸管病原性大腸菌(O86a:HNM)	0～4	男	2011.3.7		便	2011.3.23
腸管出血性大腸菌(O91:H51 VT1)	60代前半	男	2011.3.23	無症状	便	2011.4.4
腸管出血性大腸菌(O91:HUT VT1)	60代前半	女	2011.3.14	無症状	便	2011.4.4

○ 気管支炎を呈した患者の咽頭ぬぐい液や鼻汁から *Bordetella pertussis* (百日咳菌) に加え *Bordetella holmesii* が分離されている。*Bordetella holmesii* は菌の分離報告が少ないため、正確な病態等は不明である。

○ 無症状保菌者から血清型 091 の EHEC が検出されている。国立感染症研究所感染症情報センターによると 091 は 2005 年以降増加傾向にある。増加した理由として、2005 年から市販の 0 群型別試験用免疫血清に 091 が追加され、民間の検査機関でも型別が可能になったことが推測されている。

※ スタッカート：連続した「コン・コン・コン・・・」という短い咳
 ウープ：スタッカートの後の「ヒュー」という吸い込み発作
 レプリーゼ：スタッカートとウープのくり返し

□ ウイルス（平成 23 年 3 月 23 日～平成 23 年 4 月 4 日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床症状	材料	検出日
ヒトメタニューモウイルス	4M	男	3.22	肺炎、喘息性気管支炎、40℃、低酸素症	咽頭ぬぐい液	3.24
ヒトメタニューモウイルス	2M	男	3.28	肺炎、37.7℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	3.29
A型肝炎ウイルス	65	男	3.28	A型肝炎、37℃、全身倦怠感、黄疸	便	3.29
※すべてPCR法で検出						

○肺炎の乳児2名からヒトメタニューモウイルスが検出された。国立感染症研究所感染症情報センターの病原微生物検出情報では、2月から報告数が増えている。

○A型肝炎の患者からA型肝炎ウイルスが検出された。A型肝炎はA型肝炎ウイルスに汚染された水、食品を介して感染する。潜伏期間は2～8週間で、発熱、下痢、倦怠感、食欲不振、黄疸などの症状が出る。

■ 全国第 12 週の発生动向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 26.2 で、前週比 76%と減少した。今週増加した主な疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザであった。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,989 人 (0.97) で、前週比 100%であった。長野県 (4.4)、香川県 (4.2)、鹿児島県 (3.2) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 59,690 人 (12.3) で、前週比 71%と減少した。大分県 (32.8)、山口県 (27.8)、広島県 (21.9) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 29%、6-9 歳が 35%、10-14 歳が 21%、15-19 歳が 2%、20-50 歳代が 11%、60 歳以上が 2%を占めた。

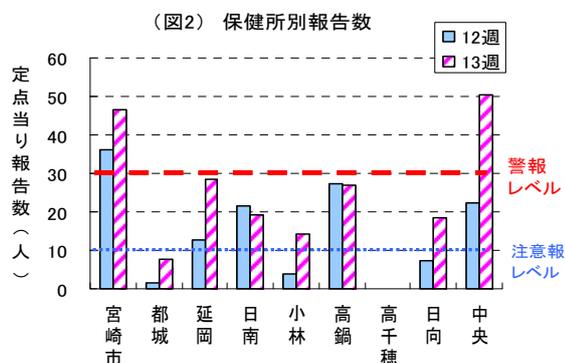
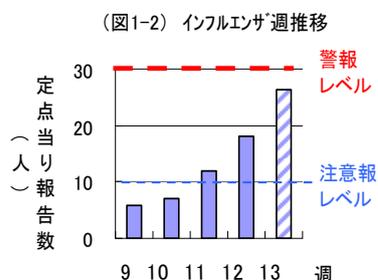
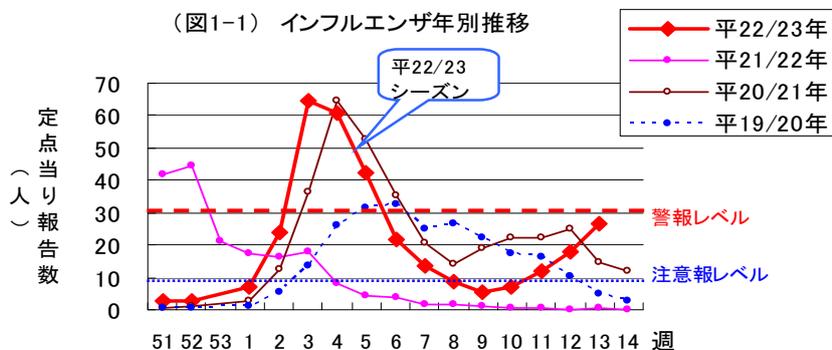
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 286 例
- 3 類感染症：コレラ 1 例、細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 8 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症：E型肝炎 1 例、A型肝炎 4 例、オウム病 1 例、つつが虫病 2 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 4 例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 4 例、ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 4 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 8 例、梅毒 8 例、破傷風 2 例、風疹 1 例、麻しん 5 例

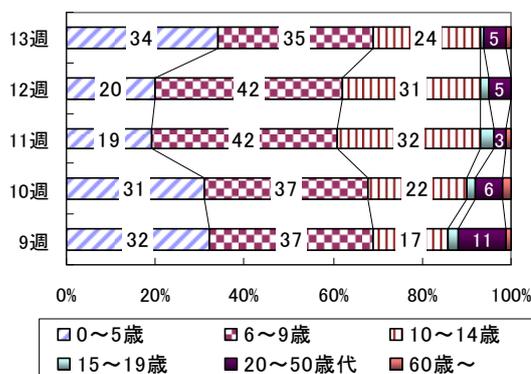
■ インフルエンザ情報《県内第13週、全国第12週（再掲）》

□ 県内第13週インフルエンザ発生動向

平成23年3月28日～4月3日までの1週間で1,558人（定点あたり26.4）の報告があり、前週に比べ146%と増加した（図1-1,2）。4週連続で増加し、中央（50.5）、宮崎市（46.4）保健所管内では警報レベルを上回った（図2）。年齢別では5歳以下が全体の34%、6-9歳が35%、10-14歳が24%、15-19歳が1%、20歳以上が6%を占めた（図3）。



(図3) 年齢群別の割合 (%)



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (第13週)		1週前 (第12週)		2週前 (第11週)		3週前 (第10週)		4週前 (第9週)		5週前 (第8週)	
	3/28～4/3		3/21～3/27		3/14～3/20		3/7～3/13		2/28～3/6		2/21～2/27	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	46.4	○	36.3	○	26.3	△	12.6	△	8.5	-	15.8	△
都城	7.8	-	1.7	-	1.3	-	2.0	-	2.1	-	3.4	-
延岡	28.3	△	12.9	△	4.9	-	4.4	-	7.6	-	7.9	-
日南	19.4	△	21.4	△	14.6	△	5.4	-	6.4	-	2.6	-
小林	14.2	△	4.0	-	0.4	-	1.4	-	2.6	-	6.4	-
高鍋	26.8	△	27.5	△	14.3	△	11.3	△	5.7	-	12.3	△
高千穂	0.0	-	0.0	-	0.0	-	1.0	-	1.0	-	3.0	-
日向	18.3	△	7.5	-	2.8	-	1.0	-	3.5	-	7.7	-
中央	50.5	○	22.5	△	30.0	○	23.5	△	12.0	△	7.5	-

□ 全国第12週インフルエンザ発生動向

平成23年3月21日～3月27日までの1週間で59,690人（12.3）の報告があり、前週比71%と減少した。大分県（32.8）、山口県（27.8）、広島県（21.9）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の29%、6-9歳が35%、10-14歳が21%、15-19歳が2%、20-50歳代が11%、60歳以上が2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第13週(03月28日～04月03日)

疾病名		第12週	第13週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1069	1558	742	78	198	97	71	161		110	101
	定点あたり	18.12	26.41	46.38	7.80	28.29	19.40	14.20	26.83	0.00	18.33	50.50
RSウイルス 感染症	報告数	16	29	2	2	6				3	16	
	定点あたり	0.44	0.81	0.20	0.33	1.50	0.00	0.00	0.00	3.00	4.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	25	16		2	9	3	1			1	
	定点あたり	0.69	0.44	0.00	0.33	2.25	1.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	152	186	35	25	71	23	5	6	2	15	4
	定点あたり	4.22	5.17	3.50	4.17	17.75	7.67	1.67	1.50	2.00	3.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	664	639	120	145	29	79	105	74	5	62	20
	定点あたり	18.44	17.75	12.00	24.17	7.25	26.33	35.00	18.50	5.00	15.50	20.00
水痘	報告数	98	114	36	6	22	12	1	24		12	1
	定点あたり	2.72	3.17	3.60	1.00	5.50	4.00	0.33	6.00	0.00	3.00	1.00
手足口病	報告数	20	15	6		4			5			
	定点あたり	0.56	0.42	0.60	0.00	1.00	0.00	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	72	66	28	5	9	2	2	13	2		5
	定点あたり	2.00	1.83	2.80	0.83	2.25	0.67	0.67	3.25	2.00	0.00	5.00
突発性発しん	報告数	39	37	12	6	5	2	4	5		2	1
	定点あたり	1.08	1.03	1.20	1.00	1.25	0.67	1.33	1.25	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	85	80	20	4	15	35	2	1		2	1
	定点あたり	2.36	2.22	2.00	0.67	3.75	11.67	0.67	0.25	0.00	0.50	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	9	9								
	定点あたり	1.83	1.50	3.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～13週)

2類感染症	結核	75例(7)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例(1)			
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎
5類感染症	後天性免疫不全症候群	4例(1)	梅毒	3例	破傷風
	風しん	1例			2例

●動物感染症累積報告数(2011年1週～13週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲